

江南市議会議員

山としひろ

活動レポート



私の重点政策!!

子どもの貧困をなくします!

日本の子どもの相対的貧困率は、2015年時点で13.9%であり、7人に1人が経済的に困窮しています。さらに、ひとり親家庭の貧困率は50.8%と極めて高水準です。

一方、愛知県が行った調査によると、県内の貧困率は5.9%でした。全国平均の半分以下とはいえ、実に県内で7万人、江南市で約1,000人も子ども(推定)が貧困状態にあることは、大変憂慮すべきことです。

本来、学校教育は貧困の連鎖を防ぐために有効な手段であるべきです。

ところが、すでに義務教育段階から大きな学力格差が生じており、義務教育が貧困を再生産しています。

子どもには何の責任もありません。子どもを貧困で泣かせることがあってはなりません。

そこで、生活困窮世帯の子どもを対象に、無料の学習支援事業を実施するように提案しています。

現在、福祉事務所を持つ約900自治体の約6割、愛知県内の38市の約7割がすでに事業を行っています。

先進事例をみると、ボランティアスタッフが子どもの話し相手として悩み事を聴いたり、食事を一緒に作って食べたり、工夫を凝らした取り組みがなされています。昨年12月議会の一般質問で、市当局から「事業の必要性・有効性を認識している」旨の答弁を引き出しました。早期実施を求めています。

政策提案

- ✓ 学校給食費や教材費等の保護者負担を軽減します。
- ✓ 就学援助制度の周知徹底を図り、対象者をしっかりと捕捉します。クラブ活動費等も支給対象に追加します。
- ✓ フードバンクや地域の有志と連携し、学校での朝食の提供を検討します。(大阪や福岡での先進事例があります。)子ども食堂の設置・運営を支援します。
- ✓ 公共施設に中高生が勉強できるスペースを設けます。
- ✓ 所得税法における寡婦控除は、未婚のひとり親には適用されず、離婚・死別のひとり親よりも経済的負担が重くのしかかっています。婚外子差別をなくすため、国に制度の是正を要求します。
- ✓ 離婚後の子どもの養育支援として、養育費の支払いや面会交流の履行を後押しするため、窓口での情報提供を強化します。ハローワーク等と連携して、ひとり親の抱える課題にきめ細かに対応します。
- ✓ 児童虐待対策として、スクールカウンセラーと児童相談所、性暴力被害者のためのワンストップ支援センターの連携を強化します。学校で性暴力に関する教育を行います。

